

評価結果概要表

【評価実施概要】 作成日 平成21年7月28日

事業所番号	2774600700	評価機関名	特定非営利活動法人 近畿マネジメント・サポート・センター
法人名	有限会社 ロフティアイディール	所在地	大阪市東住吉区山坂5丁目5番14-103号
事業所名	高齢者福祉施設 葉月	評価調査日	平成 21 年 7 月 23 日
所在地	柏原市玉手町18番51号 電話 072-977-4165	評価確定日	平成 21 年 8 月 4 日

【情報提供票より】 (平成21年6月30日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成18年3月1日
ユニット数	2 ユニット 利用定員数 13 人
職員数	20人 常勤 9人 非常勤 11人 常勤換算 12, 8人

(2) 建物概要

建物の構造	鉄骨 3階建ての(2階～3階部分)
-------	----------------------

(3) 利用料金等 (介護保険自己負担分を除く)

家賃 (平均月額)	42,000円	その他の経費 (月額)	28,000円	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金を含む)	有 300,000円 償却有 3年			
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,800円			

(4) 利用者の概要 (6月30日現在)

利用者人数	13名	男性	3名	女性	10名
要介護1	2名	要介護2	1名		
要介護3	5名	要介護4	4名		
要介護5	1名	要支援2	0名		
年齢 平均	79才	最低	67才	最高	93才

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医真会 八尾総合病院 松原クリニック
---------	--------------------

【外部評価で確認された、この事業所の特徴】

新築3年目、3階建の2～3階を利用している高齢者福祉施設です。介護職員の退職者は少なく、職員の半数の8名が介護経験5年以上のベテランで、毎日、温かな気付きの介護が行われている。利用者の定員は2階4名、3階9名で、計13名が利用しているが、介護の基本としているのは「しっかり」と「ゆっくり」で、利用者とうき合うことをモットーとして進められています

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題と、その後の取り組み、改善状況 (関連項目: 外部4)
	地域の方々との交流は、運営者による近在の各組織との間で進められ、ボランティアの受け入れや、保育園園児の来訪等もあり、更に、利用者も散歩の途中でお会いする地域の方々とも挨拶を交わしている。今後は、運営者の業務指導範囲の適正化と、介護情報の記録集約と改善のために、管理者・計画作成者の採用を急ぎ進めているのが現状である
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4)
	運営者は業務改善に日夜、努力をしているが、今回の外部評価準備中に、急に管理者が不在となる事態になったので、運営者が尽力し、評価を予定通り実施した経緯がある。所内での日常生活は、職員の内8名が5年以上の介護経験者で、日常の生活は問題なく、平常通り行われている
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容、及び、それらを活かした取り組み (関連項目: 外部4, 5, 6)
	運営推進会議については最近、6月に開催しているが、過去も、ほぼ2ヶ月毎に開催している。議事は、出席者からの情報提供と、事業所側の経過報告等で、その他、運営改善のための諸問題や情報交流等が行われている。特に、地区の委員の方々には、積極的に何かとご配慮を頂き介護向上に役立っている
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7, 8)
	運営推進会議に、ご家族と本人にも出席していただき、ご意見等を頂いている。又、ご家族アンケートの集計結果では、特にご不満は頂いていないが、介護計画作成者の入退職が続いたので、この点に関してのご指摘を頂いている。従って運営者は、これを優先課題として、人事問題の解決に取り組んでいる
重点項目⑤	日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)
	施設開設後3年目になるが、運営者が地域組織の方々との交流に努めており、運営推進会議の委員の方々との交流も進んでいて、種々のご支援を頂き、所内の介護向上に役立たせている。特に、所在地は古い歴史がある住宅地域なので、地元の方々との、交流には長い目での自然な交流を待ちたいと考えます

（ 部分は重点項目です）

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I 理念に基づく運営					
1 理念と共有					
	1	○ 地域密着型サービスとしての理念 地域の中で、その人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	運営者の高齢者介護への熱い想いを「地域」「向上」「伝心」「信頼」の4つの項目でまとめ、理念の達成を掲げている		
	2	○ 理念の共有と、日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	各フロア毎に「理念」を掲げて職員への指標としている。職員との会議は2ヶ月毎に開催している		
2 地域との支えあい					
	3	○ 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等の地域活動に参加し、地域の人々と交流することに努めている	地域の運営推進会議の委員の方々のご尽力により、地元の方々との交流が進められている。中学校生徒の職業体験も受け入れている		
3 理念を実践するための制度の理解と活用					
	4	○ 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	運営者、職員は介護向上に配慮して、利用者楽しく生活を送っていただけるように、いろいろ工夫をしている		
	5	○ 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について、報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービスの向上に活かしている	運営者は、この会議を地域交流の原点としている。そして、地域の各委員さんによる情報交流が進められ、介護向上の原点となっている		
	6	○ 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営者は、市のご担当者へは出来るだけ訪問するように努めている		
4 理念を実践するための体制					
	7	○ 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び、個々にあわせた報告をしている	ご家族へは毎月「葉月だより」を発送し、一筆書きで近況報告もしている。又、個々のご家族へは随時、電話による連絡をしている		
	8	○ 運営に関する家族等の意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日頃から運営者、職員がご家族、本人からのご意見等を伺い、運営に反映させている。運営推進会議には、ご家族と共に利用者にも出席して頂き、ご意見を頂いている		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	9 18	<input type="checkbox"/> 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の内、約半数の8名の職員が5年以上の介護経験者なので、職員の異動があっても、利用者への介護については、殆ど変わらぬケアが続いている。特に、新規職員には慣れるまで、見習い期間としている		

5 人材の育成と支援

	10 19	<input type="checkbox"/> 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	運営者は、介護の基本は職員の育成にあることを踏まえて、職員会議での研修と共に、職員に内外の研修を奨励している		
	11 20	<input type="checkbox"/> 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて質を向上させていく取り組みをしている	市内の同様の事業所との交流が行われつつある		

II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1 相談から利用に至るまでの関係づくりと、その対応

	12 26	<input type="checkbox"/> 馴染みながらのサービス利用 本人が安心し納得した上で、サービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人、ご家族に十分説明し、入所体験等も加えて、納得していただくように努めている		
--	-------	--	---	--	--

2 新たな関係づくりと、これまでの関係継続への支援

	13 27	<input type="checkbox"/> 本人と共に過ごし、支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は、一人ひとりの利用者の特性を活かして、関係づくりを進めている		
--	-------	--	-----------------------------------	--	--

III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1 一人ひとりの把握

	14 33	<input type="checkbox"/> 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人、ご家族に十分説明し、入所体験等も加えて納得していただくように努めているが、ご家族、本人から以前の生活歴、習慣等の把握にも努めている		
--	-------	--	--	--	--

2 本人がより良く暮らしを続けるための介護計画の作成と、見直し

	15 36	<input type="checkbox"/> チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画作成の担当者会議はしているが、日常の記録の集約と検討に、十分活かされていない	○	利用者の個人毎の情報記録の集約が十分行われていない。専任担当者による改善が早く進められるよう期待したい
--	-------	---	--	---	---

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
16	37	○ 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	定期的にサービス担当者会議、モニタリングを行っているが、経過記録が十分出来ていない	○	サービス担当者と計画作成者を交え、記録の進めた方の改善を進めて欲しい
3 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○ 事業所の多機能性を活かした支援 本人や、家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ご家族、本人の状況に応じた柔軟な支援を行っている		
4 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○ かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られた、かかりつけ医と、事業所の関係を築きながら、適切な治療を受けられるように支援している	かかりつけ医師の受診は継続して実施している上、毎月の健康管理での受診、支援も行っている		
19	47	○ 重度化や週末期に向けた方針の共有 重度化した場合や、終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびに、かかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入所時での説明のみで、入居年数に応じた対応が十分ではない	○	利用者の経過状況から、ご家族も交えた合意を書面で交わせるよう進めて欲しい。尚、新入の利用者については、当初から書面合意を目指して欲しい
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1 その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○ プライバシー確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報取り扱いをしていない	個人の尊厳については、職員会議等にて、日頃から配慮を指導している		
21	52	○ 日々の、その人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	生活に刺激を与えるように散歩・外出を行っている。室内でも歩行を指導している		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○ 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の日常生活動作(ADL)に合わせて、一緒に行っている		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	23	57	<p>○ 入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	出来るだけ希望に沿えるよう努めている	

(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援

	24	59	<p>○ 役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	出来る能力を活かすよう配慮している	
	25	61	<p>○ 日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりの、その日の希望にそって戸外に出かけられるよう支援している</p>	出来るだけ外出ができるよう支援している	

(4) 安心と安全を支える支援

	26	66	<p>○ 鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中、玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	不穏な利用者が居られるので、鍵掛けが行われている	○ 鍵掛けなしを、職員一同で検討してみたい
	27	71	<p>○ 災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	消防署員のご指導を受けて、緊急避難の訓練をしている	

(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援

	28	77	<p>○ 栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	カロリーに配慮したメニューを用意している。又、毎月、体重測定をしている	
--	----	----	---	-------------------------------------	--

2 その人らしい暮らしを支える生活習慣づくり

(1) 居心地のよい環境づくり

	29	81	<p>○ 居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	共用の居間は明かるく、広々としており、季節の飾りもされていて、新築で明るい生活空間となっている。又、共用室は床暖房となっており、その他の部屋等は空調設備が整っている。	
	30		<p>○ 居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	各個室は、各自が自由に家具等を持ち込んで、楽しく過ごしている	